

# NO! リニア

No. 75

2014年1月11日

JR東海労働組合  
リニア反対プロジェクト

## 「リニア計画 異を唱える」「推進ありき社内から疑問」 『神奈川新聞』にJR東海労のインタビュー掲載!

1月10日付『神奈川新聞』に、リニア中央新幹線に対するJR東海労のインタビュー記事が掲載されました。インタビューに対応したのは、本部淵上委員長と小林書記長です。昨年9月、JR東海が環境影響評価準備書を発表して以降、リニア中央新幹線に疑問を持つ自治体や市民が急増し、多くのマスコミもこの問題を取り上げています。そのような中、今回のインタビュー取材が行われました。

JR東海労の主な主張点は、以下の通りです。

- ①「新幹線の収入は07年度がピークで、その水準には戻っていない。国の推計では大阪開業時、生産年齢人口（15～64歳）が13年比32%も減る。強気の増収予想は、乗客確保で最も重要な要因である人口減少が加味されていないのではないか。
- ②現場にはリニアよりも優先すべき必要な投資がたくさんある。
- ③山田佳臣社長は「リニアだけでは絶対にペイしない。新幹線の収入で建設費を賄って何とかやっていける」との見解を示した。



民間企業が『ペイしない』と認めるのはあり得ない。経営失敗のツケは結局、社員や利用者になり、公金が投入される事態になれば国民全体が代償を払うことになる。

④もし政治的なメンツにこだわって海外輸出に執着し、リスクから目を伏せているのなら、それは経営者とはいえない。謙虚に利用者や社員の声を聴くべきだ

⑤5兆2千億円あった長期債務残高は、2012年度末でようやく2兆6千億円まで半減した。裏を返せば、四半世紀かけても半分しか縮減できなかった。建設費9兆円を超えるリニア計画は身の丈に合っているとは思えない。